

表4(裏面)



表1(表紙)



Feature

2021年年初特集

2021年夏号テーマ「えがお」



笑顔のチカラ

社会福祉法人さかき会 理事長 横内 正彦

全国社会福祉施設経営者協議会（以下「経営協」といいます。）の東京で開催された学習会の講座の一幕が私の身体に沁みこんでいます。

この学習会は、偶然にも本会創設の時期（20数年前）から始まった「社会福祉構造改革」の大きな転換期に応じた経営協会員の意識改革を目的とした勉強会であり、毎年前期と後期に分けて平成17年頃から東京で開催され、北は北海道・南は沖縄などから、多くの経営協会員が出席していましたが、平成28年の社会福祉法等の一部を改正する法律が成立するまで12年間、休まず勉強会に参加してきました。その時のエピソードです。

人生を豊かにする「笑顔」

講師の方から、隣の席の方と二人一組になり互いに向かい合って座って下さいとの指示がありました。その時、



えがお

社会福祉法人さかき会 理事長 横内 正彦

私は大学3年生の時にみらいコンパニーで実習をさせていただきました。緊張している私に「おはよう！」と笑顔で駆け寄ってくれるメンバー、「元気ある？」「明日も来る？」と笑顔で聞いてくれるメンバー。メンバーたちのそんな笑顔にもっと触れたいと思ったのが、今ここにいる理由のひとつです。メンバーの笑顔には魔法の力があって、元気をもらえたり、

魔法の力

みらいコンパニー 支援員 茂手木 美映

Vol.
45

こんにちは。4月からみらいコンパニーで支援員をしています。茂手木美映です。

私は大学3年生の時にみらいコンパニーで実習をさせていただきました。緊張している私に「おはよう！」と笑顔で駆け寄ってくれるメンバー、「元気ある？」「明日も来る？」と笑顔で聞いてくれるメンバー。

メンバーたちのそんな笑顔にもっと触れたいと思ったのが、今ここにいる理由のひとつです。

頑張ろう！と私を奮い立たせてくれます。

また、そんなメンバーの笑顔をみると私自身も自然と笑顔になれるんですよね。

今度は私の持ち前の笑顔で、メンバーたちの笑顔をさらに増やしていきたいと思っています。

よろしくお願ひいたします。



えがおになれる

あそぼ 児童指導員 小松 美樹

今、人との距離感がうまれているなかで、コミュニケーションや人とのかかわり方が少しずつ変化している世の中になっていると日々感じています。

そんな中でも、「えがお」が生まれるのはやはり人と関わりを持っている時なのではと思うことがあります。「こんなことをしたい」「こうしたらもっと楽しい」と子供たちが考え、遊びや活動をしている場面をみると子供たちの表情はとても生き生きとしており、その中には自然と笑顔が生まれています。楽しいと思えることを考えていくことはもちろん、人とのつな

がりの中で子供たちが自分自身を表現できる場面を作り、自信をもって“えがお”になれるように私自身心がけたいと思います。



2021年夏号特集

えがお

みらいファーム 支援員 笹之池 智美

笑顔が背中を押してくれる

大学で障害児教育を学び異業種を経たのち、さかき会に入職して1年半、私の日常に笑顔が増えました。メンバーの喜びや悔しさ、学びや達成感を共有できることに大きな魅力を感じています。

「支援員」といいますが、メンバーに助けてもらう事も多く、悩み立ち止まる時、いつもメンバーの笑顔が背中を押してくれます。メンバーの駆け引き無しの真っすぐな笑顔に触れ、私も自然と口角が上がり、しあわせホルモンで満たされていくので

す。メンバーの笑顔と言葉には人を幸せにする不思議な力を感じます。そんなしあわせな笑顔と共に、私も成長していきたいと思います。

